

【観光・文化分野】 ~관광·문화 분야~

本コースは、文字(ハングル)の読み書きができればどなたでも受講できます。

韓国朝鮮語CoToはじめ

~KOREAN for K-POP TRAVELERS~

日時: 7月2日、9日、16日、23日、30日

(木曜日 12:50~14:20)

担当: 姜 信和先生

この講座では、韓国朝鮮語の実践的な会話練習を行います。新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環である各国の出入国制限も、そろそろ緩和や解除に向かっています。コロナ禍のこのような時世だからこそ、自由に軽やかに心ばかりは飛翔させたいものです。互いに国境を跨ぎ越す往来再開に向けて、今のうちに旅先でも役立つフレーズを蓄えていきましょう。本講座では、待ちに待ったK-POPコンサートに行く旅行を想定して、カフェやレストランでの注文、買い物やアポイントをとる際に必須の数字の運用など、すぐに使える表現を学習します。

申し込み方法: 件名を「韓国朝鮮語講座申込」とし、icotoba@for.aichi-pu.ac.jpへメールで申し込んでください。

※申込期限: 6月26日(金曜日) 17:00

〔各回のテーマ〕

- 第1回(7月 2日) 韓国到着、宿のチェックインと周辺探索
- 第2回(7月 9日) 明洞での食事、東大門でショッピング後に広蔵市場へ
- 第3回(7月16日) 景福宮守門将の交代儀式を観覧、仁寺洞で伝統茶を
- 第4回(7月23日) 韓服を着て北村韓屋村でベストショット(インセンシャツ！)
- 第5回(7月30日) 前売り券のネット購入、コンサートの開演を待ちながら



姜 信和先生からのメッセージ



みなさん、まず日本を中心に据えた、見慣れた東アジア地域の地図を思い浮かべてみてください。それを180度くるっと廻してみると、朝鮮半島から見て海の向こうに長く大きく横たわる、また別の日本列島の姿が見えてくるはずです。そう、私たちは対岸に位置する、たいへん隣接(neighbouring)している同じ地域の住人なのです。複数の大国の狭間にある半島は、歴史的に難しい状況に置かれがちでした。しかし、例えば海を挟んだロンドンとパリの若者たち、週末には互いに往来し、違う言語と文化を自然体で楽しんでいる彼らの姿は、日韓の私たちに多くの示唆を与えてくれます。百聞は一見にしかず、少し話せるようになって、実際に韓国へ、見聞の旅に出かけましょう！

講座の申し込み・質問はicotoba@for.aichi-pu.ac.jpまで！